学　年	教科等	単元名	日　時
第４学年	外国語活動	What time is it?　「今、何時？」	令和５年７月 20 日（木）４校時

研究内容１の手立て	**【研究内容１：自分の思いや考えを伝え合うことができる言語活動の在り方】** 本時は単元ゴールでの表現を個人やペアで考える。複数回ペアを作って単元ゴールと同じやり取りをし、そのなかで繰り返し同じ英語を使う、変える、付け加えるといった工夫をする。これまでに既習事項や知っている英語を使って好きな時間や日課、その理由を伝える表現を自分で考えてきた足跡を掲示し称賛することで、自信をもって、仲間と協働して表現を高めていくことができるようにする。教師と子どものやり取りから気付いたことを、これまでのやり取りと比べさせることで、上手になってきた表現を共有し、達成感を味わえるようにする。
研究内容２の手立て	**【研究内容２：自分や仲間の表現を高め合うためのふりかえりの在り方】** 好きな時間について伝える際に、その時間にしていることへの思いが強かったり、詳しく伝えたかったりするほど、既習の英語やジェスチャーの工夫がより必要になる。自分の表現だけでなく、仲間の表現も考えるようにすることで、仲間が伝えたいことに関心をもち、質問やアドバイス等を行い、仲間に伝わるようにより工夫しようとするのではないかと考える。言語活動の途中で仲間と意見交換をしたり、代表ペアのやり取りを全体で視聴し、よいところを共有したりする。本時でめざす姿とはどのような姿なのか、全員が共有したうえでふりかえりをさせることで、自分や仲間の表現の高まりを実感することができるのではないかと考える。

○　子どもの姿からの報告

○　めあての設定および既習の語句や表現をふりえる場面
- ゴールイメージや目的、場面、状況を掲示したことで「実習の先生方に自分たちのことを知ってもらうために、自分の好きな時間や日課、その理由を伝えたい」という思いをもつことができていた（板書写真の赤枠の部分）。

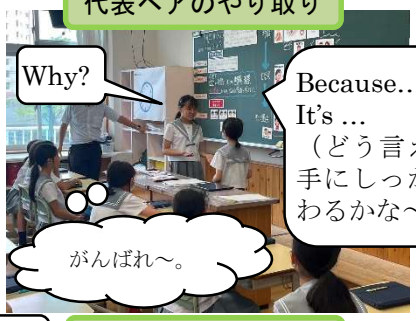
○　教師と子どものやり取りの場面
- 既習の英語を使って理由を表現する姿を価値付けたことで、自分で考えたジェスチャーや英語を交えながら、仲間に自分の考えを伝える姿が見られた。

○　代表の子どものやり取りを視聴する場面
- 話し手が気持ちよく話すことができるような反応の仕方を具体的に考えて、全体で確認することができた（板書写真の黄枠の部分）。

【代表によるやり取りの場面】

教師と子どものやり取り

代表ペアのやり取り



【言語活動の場面】

言語活動前半

言語活動後半

【板書】

ふりかえりの場面

○　考察

○　教師と代表の子どものモデルとなるやり取りを視聴させたことで、子どもがやり取りに必要な表現を意識し、言語活動につなげることができていた。

○　子どもが安心して活動できる環境が整っていた。自分の思いや考えをもち、それらを伝え合う外国語活動・外国語科においては、この仲間を大切にする雰囲気や既習事項の掲示などの環境づくりがとても重要である。

○　言語活動の途中に、やり取りで自分が工夫したところや、仲間のよかったところをふりかえる時間を取り入れたことによって、子どもの表現の向上につながった。

○　ふりかえりにおいては、子どもに委ねるだけでなく、本時のねらいに迫るためのふりかえりの視点を与えたり、その視点における教師のアドバイスを行ったりすることで、子どもの思考が深まり、言語活動における個々の表現ももっと高まるのではないか。

御意見・御質問はこちら（研究部アドレス）
miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

○　本時の目標

自分や相手の好きな時間や日課、その理由を既習の英語を使って伝え合う。

○　指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり　（★は評価にかかわるもの）
1　「好きな時間や日課を伝え合う動画を撮影して４の２ Clock map を作る」という目的、場面や状況を確認し、本時のめあてを設定する。 ○　本時のめあて （教育実習の先生方に自分たちの好きな時間が伝わるように）自分や仲間の好きな時間や日課、その理由について、伝わる英語を考えよう。	○　ともに過ごしてきた仲間であっても、互いの生活について知らないことが多いことを確認し、伝え合う必要感や期待感をもてるようにする。 目　的：　教育実習の先生方に好きな時間や生活を伝え合う４の２Clock map を作る。 場面や状況：　自分の好きな時間や日課、その理由を目の前の相手に伝える場面。
2　教師と代表のやり取りを視聴し、自分やペアの仲間の好きな時間についての表現を考え、やり取りをする。 ○　やり取り例 A: Hello, B. B: Hello, A. A: How are you? B I'm fine. And you? A: I'm happy. Can I go first? B: Sure. A: I like 8 o'clock. B: You like 8 o'clock. Why? A: Because it's "Dinner Time". I like rice. Do you like rice? B: Yes, I do. I like rice, too. A: How about you? B: I like 8 p.m., too. A: Why? B: Because it's "Bath Time". I like my new shampoo. Do you like "Bath Time"? A: Yes, I like "Bath Time". B: Good. Nice talking to you. A: Nice talking to you, too.	○　コミュニケーションのポイントを意識しながら教師と代表によるやり取りを行い、気付きを共有することで、自分たちの表現を考えるときに同様の思考が働き始めるようにする。 コミュニケーションのポイント 伝わる声、アイコンタクト、表情、ジェスチャー、うなずき、相手が話したくなる反応 ○　複数の仲間とやり取りをするなかで学習活動３に挙げていることを意識する姿や、次のような姿を称賛することで、一緒に表現づくりをしながら自他の表現の高まりを感じることができるようにする。 ・　既習や知っている英語等を積極的に使う姿 ・　質問やアドバイス等をして相手の表現についても考える姿 ・　英語等を変えたり付け加えたりして、表現を高めようとする姿
3　代表のやり取りを視聴し、互いのよいところを共有した後、それらを生かして自分の表現を高める。 ○　好きな時間について仲間に伝わる工夫 ・　仲間に伝わる英語 ○　話し手と聞き手が支え合う姿 ・　英語が分からないときに教える ・　よいアドバイスをする ・　相手の発言に対する素敵な反応　等	★　ペアを変えてやり取りをしたあとに最初のペアで再度やり取りしたり意見交換をしたりすることで、自他の表現の高まりを実感できるようにする。 ○　本時めざす姿とはどのような姿なのかを全員に共有させることで、本時の自分やペアの仲間、代表のやり取りを照らし合わせながら、外国語によるコミュニケーションで大切にすることや、表現の高まりについてふりかえりができるようにする。
4　本時の学習をふりかえる。 ○　ふりかえりの内容 ・　工夫したことや仲間のよかったところ ・　次時の単元のゴールに向けて	○　次のような内容を紹介することで、自信や安心感を高めて次時に臨むことができるようにする。 ・　自他の表現の工夫 ・　仲間と一緒に考えたり教え合ったりする姿 ・　次時がんばりたいことや楽しみなこと

○　本時の評価規準

コミュニケーションのポイントを意識し、自分や相手の好きな時間や日課、その理由を既習の英語を使って伝え合おうとしている。
（思考・判断・表現②）【行動観察・記述分析】